

細谷小学校の目指す児童像



やさしく
つよく
かしこく

希望の泉



細谷小学校学校だより
令和5年11月発行 第7号
宇都宮市立細谷小学校
校長 竹澤 昭



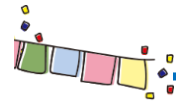
スポーツの秋・読書の秋・食欲の秋



秋は、何をするにも心地よい季節のため、色々な『〇〇の秋』という言葉があります。子供たちは、体育の授業や休み時間に思い切り体を動かしたり、読書週間に様々な本に触れて読書の楽しさを味わったりしながら『スポーツの秋』『読書の秋』を満喫しています。また、11月8日(水)に実施した「おにぎりの日」では、具材や形を工夫して作ったおにぎりを頼張りながら『食欲の秋』を味わいました。



運動会 一致団結して戦いました



10月21日(土)の運動会では、“一致団結 笑顔で 勝利をつかみ取れ”のスローガンのもと、赤組も白組も闘志を燃やし、競技や応援に全力で取り組みました。個人走や団体競技、そして夏休みからタブレットの動画を見て個別練習に取り組んできた表現ダンスの発表が行われ、午前中だけの開催ですが、充実した内容となりました。子供たちは、今、自分たちができる最大の力を発揮し、満足感に溢れた最高の笑顔を見せてくれました。早朝より応援に駆けつけてくださったご家族や地域の皆様、また、運営や後片付けなど運動会を支えてくださったPTA学年部、各委員会、執行部の皆様に、心よりお礼申し上げます。



講話朝会「かしこく」

11月7日(火)の講話朝会で、細谷小の合言葉のひとつ「かしこく」について話をしました。何を作ってもうまく育たない畑に、本来、冬に育てるほうれん草を夏に育ててみたところ、見事に収穫できたというお百姓さんの話や、遠くに離れている人と話をできる電話機を発明したグラハム・ベルの話、そしてその電話機を家の外からでも通話ができるようにしたり、携帯でインターネットやゲームができるようにしたりと、さらに便利にした人がいるという話をしました。かしこい人とは、方法やアイデアを考えて「できない」を「できる」に、そして「できる」を「もっとできる」にする人であると話しました。そして今は、学校で漢字や計算、読書を通して「できない」を「できる」に、そして「もっとできる」に挑戦してほしいとお願いしました。



子供たちが書いてくれた感想を紹介します。

ならっていないかんじをかけるようにしたいです。けいさんをはやくできるようにしたいです。 (1年生)	頭をつかえば、できないをできるにへんしんさせられるのがわかりました。 (2年生)	そこで「もうだめだ!」と思っても、よく考えていろいろなことをためす「もえつつあん」は、かっこいいなと思いました。(3年生)
たくさん勉強したり、みんなにもっとやさしくしたりして、未来の自分や人に役立つ人になれるようがんばります。 (4年生)	どんなにちょう戦してもできなかったことを、できるようにすることがすごい。自分で不可のうを可のうにしていくなきめないところがいいなと思いました。(5年生)	あきらめずに考えて、けい続的に自学などを少しずつ毎日続けることが大切だと思いました。その少しの積み重ねが大きい変化になるんじゃないかなと思いました。(6年生)

宇都宮市小学校陸上競技大会

10月31日(火)、宇都宮市内の全小学校71校から、5・6年の代表選手約2千人がカンセキスタジアムに集合し、陸上競技大会が行われました。細谷小では10月から放課後の練習を開始し、18名の代表選手が大会に出場しました。選手たちは、昨年の栃木国体の会場となったカンセキスタジアムで練習の成果を発揮し、多くの選手が自己ベストの記録を更新することができました。



《Dブロック入賞者》

走り幅跳び	5年	大島 向葵(4位)	3m26cm
		山口 拓人(2位)	3m96cm
		(※市4位)	
	6年	巻嶋 結衣(4位)	3m72cm
走り高跳び	5年	高崎 想平(1位)	1m10cm
	6年	豊田 幸村(4位)	1m25cm
400m リレー	5年女子(6位)	1分4秒36	
		花田 果音, 稲村 日花 大島 向葵, 中田 帆香	